

## 平成29年度若い世代の移住・定住に関するアンケート結果

### 1 アンケート概要

#### (1) 目的

本市の若い世代（概ね49歳以下）の移住・定住の促進に関する取組に対する市民の満足度や意見を把握するため。

#### (2) 対象

モニター 105名

#### (3) 回収数

75件（若い世代33件）

#### (4) 調査時期

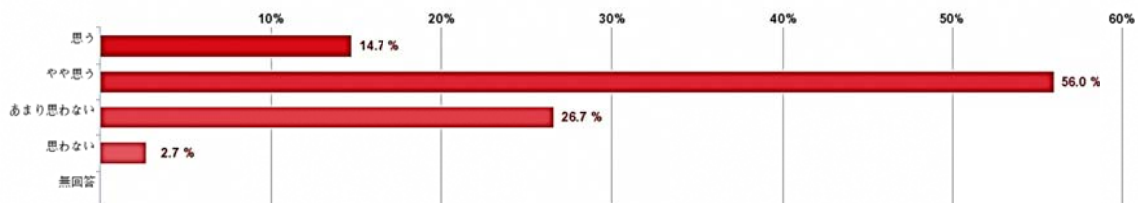
平成29年8月2日（水）～平成29年8月9日（水）

### 2 アンケート結果

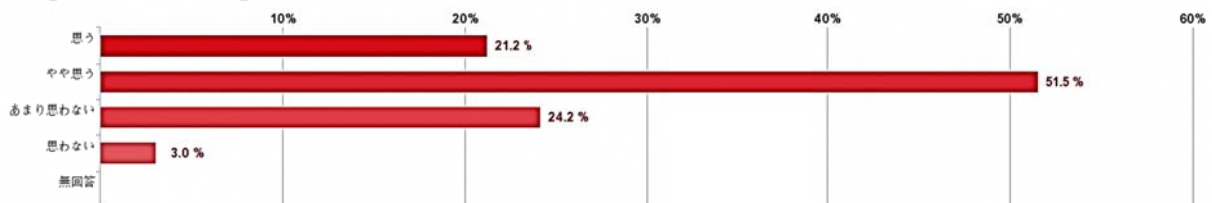
白井市の住環境についておたずねします。

Q1 白井市は若い世代が暮らしやすいまちだと思いますか。

【全回答】 n=75



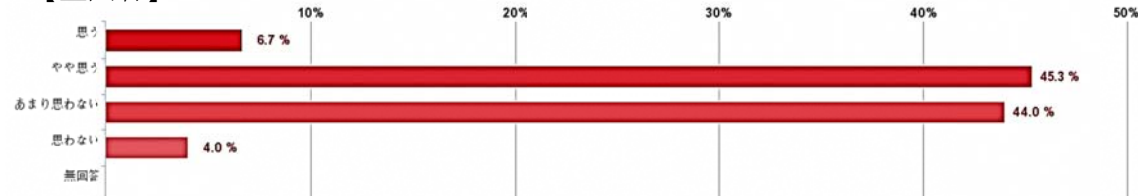
【若い世代回答】 n=33



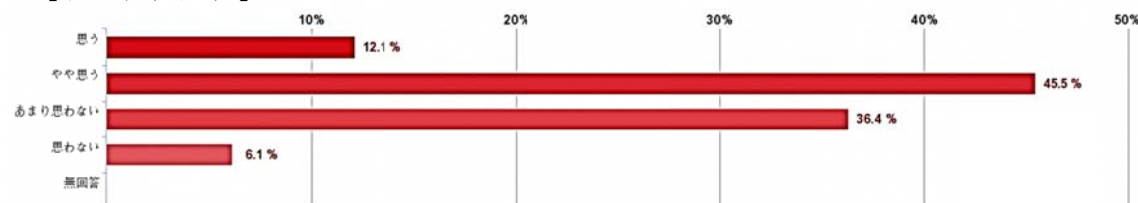
Q2 白井市では、若い世代が魅力を感じる住宅供給や、親子で助け合って暮らせる同居・近居を推進しています。

あなたは、白井市には、若い世代が快適に暮らせる住環境が整っていると思いますか。

【全回答】 n=75

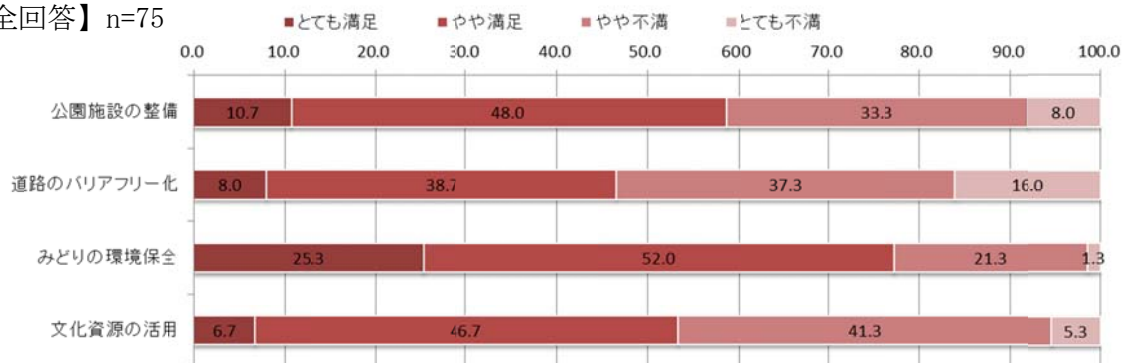


【若い世代回答】 n=33

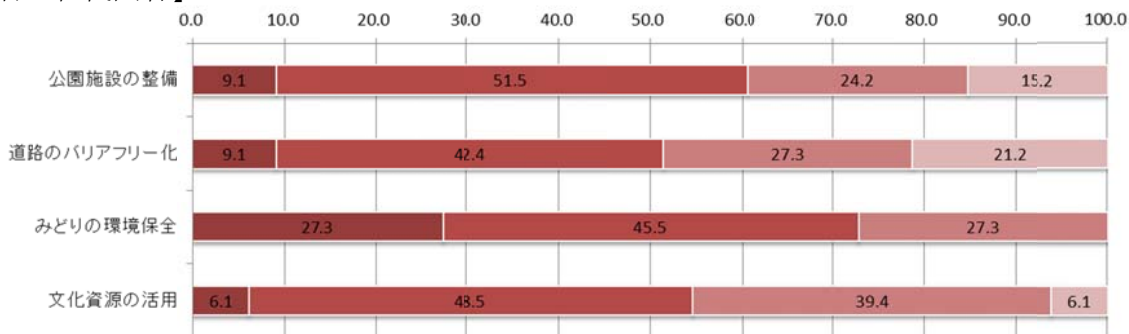


Q3 あなたは、白井市の次の取組にどの程度満足していますか。

【全回答】 n=75



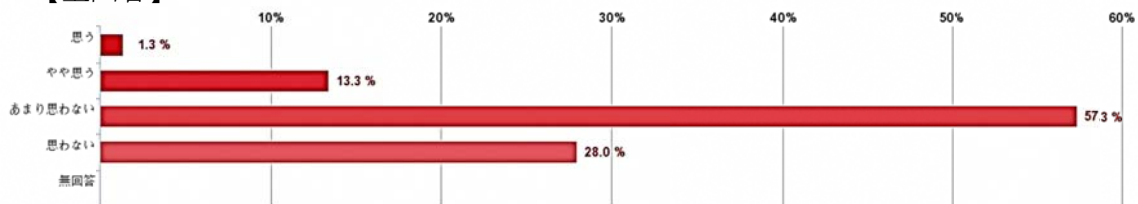
【若い世代回答】 n=33



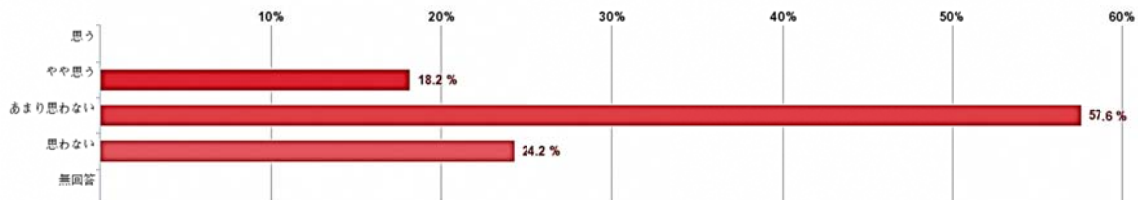
白井市での就業についておたずねします。

Q4 あなたは、白井市内に働く場が充実していると思いますか。

【全回答】 n=75

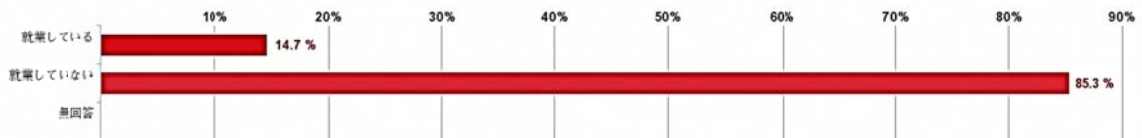


【若い世代回答】 n=33

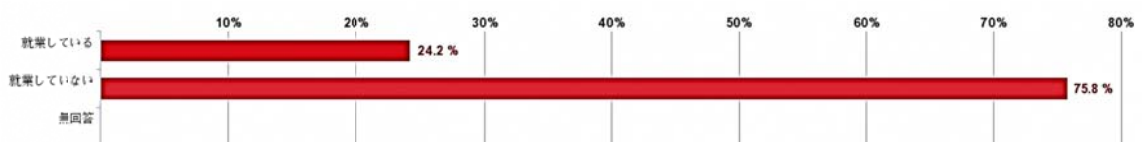


Q5 白井市では、市内に立地する企業の市民雇用を促進しています。あなたは市内で就業していますか。

【全回答】 n=75



【若い世代回答】 n=33



Q6 Q5で「就業していない」と回答した方におたずねします。あなたは、白井市内で就業したいと思いますか。

【全回答】 n=75



【若い世代回答】 n=33

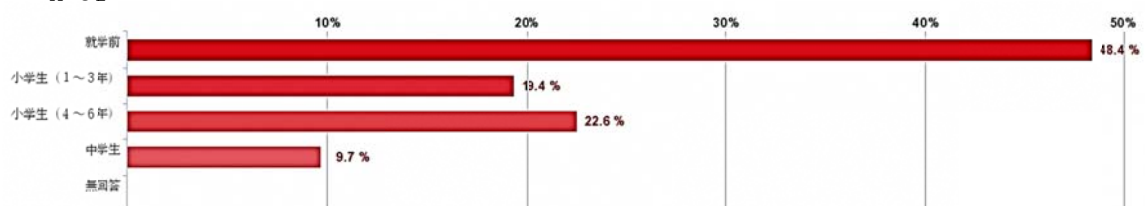


子育てに関することについておたずねします。

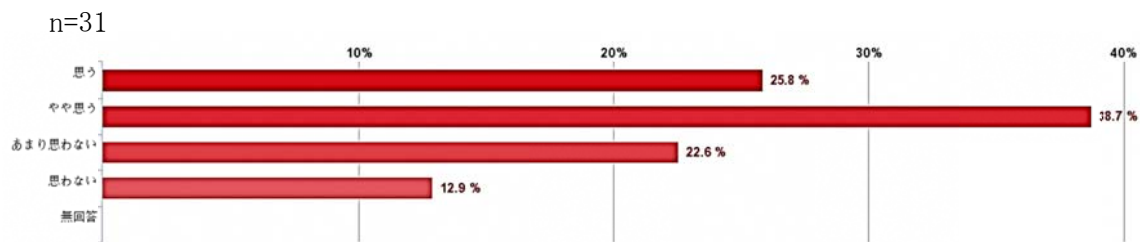
Q7からQ12については、0歳から中学校3年生までのお子様がいいらっしゃる方のみお答えください。

Q7 一番下のお子様の年齢を選択してください。

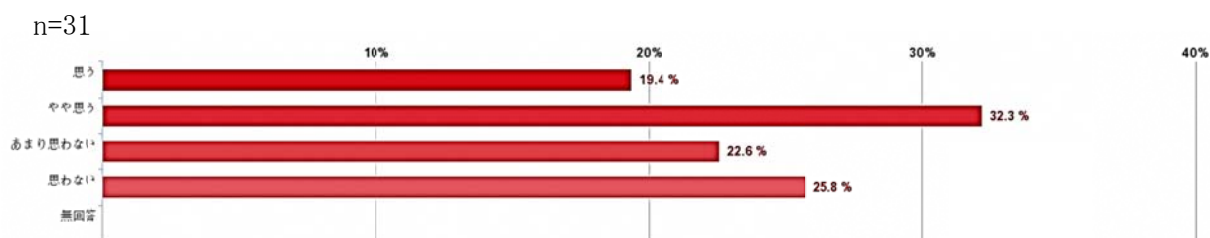
n=31



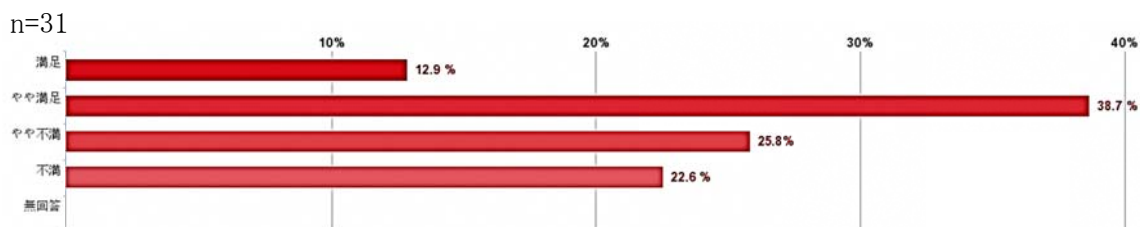
Q 8 あなたは、白井市は子育てしやすいまちであると思いますか。



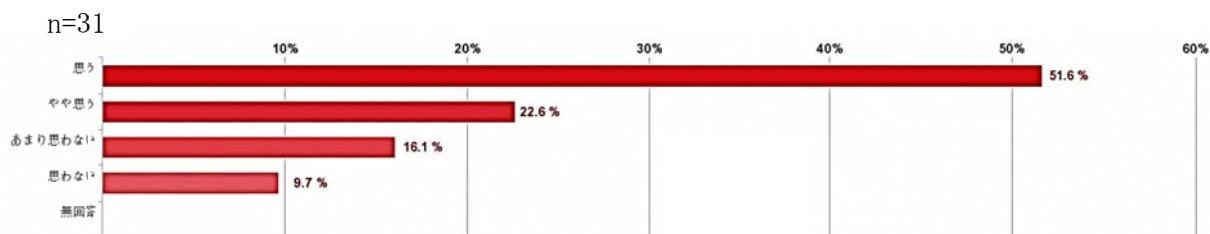
Q 9 白井市では、公園の整備や道路のバリアフリーなど、子どもと一緒に外出しやすい環境整備を進めています。あなたは、白井市には、親子で外出しやすい環境が整っているとと思いますか。



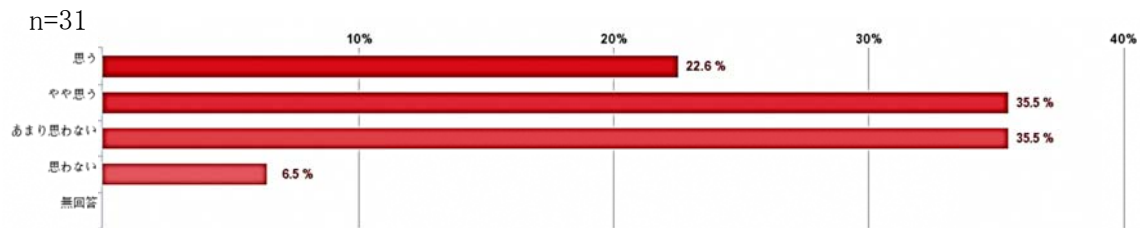
Q 10 白井市では、保育所の誘致や、病児・病後児保育の実施など、保育サービスの充実に取り組んでいます。あなたは、白井市の保育サービスに満足していますか。



Q 11 白井市では、子どもにかかる医療費を助成し、子育ての経済的負担の軽減に取り組んでいます。あなたは、この制度により子育ての経済的負担が軽減されていると思いますか。

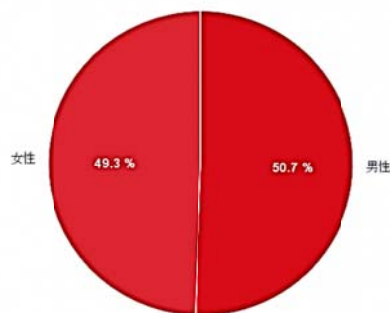


Q12 白井市では、地域ぐるみでの親子の居場所づくりや子育て支援に取り組んでいます。あなたは、お住まいの地域に子育てを応援する環境が整っていると思いますか。

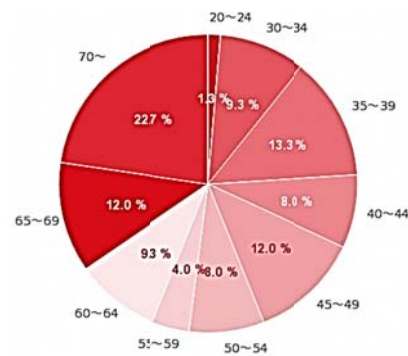


### 【基本情報】

#### ○性別



#### ○年齢構成



### 【自由意見】

#### ■子育て支援・教育

子供の医療費も無料も自治体もあるので、子育て世代には住みやすいとは言いがたい。

子育て支援の一環として児童手当の拡充

子育て支援サービス（ハード&ソフト）の近隣自治体比較「超優位」の確立と宣伝。

駅直近の保育施設の設置

他市から越してきました。5才と1才の子どもがいますが、児童館での幼児向けのイベントがもっとあるといいなと思います。または、市川市のように見守ってくれる先生がいれば、相談がしやすいなと思いました。

児童手当の割増支給

子育て世代への子ども手当や医療費負担のさらなる軽減

他県を旅行した際、図書館を利用する機会があった。町立だったが、蔵書も多く子ども連れでも見易い様々な工夫がされていた。白井市は、先日色々な本の購入を辞めると通知があったが、若い人向けの本がほとんどだった。そのリストをみて、大変失望した。白井市は文化的なレベルがとても低く、若い世代も育たないと思う。

せっかく高い北総線のおかげで交通費補助のしっかりした大企業の従業員が増えやすい環境なのに、全国横並びの子育て補助制度では誘致力は発揮できません。ビジネスとして政治を考える能力が不足しているように感じます。

電車賃が高く、子供を市外の学校に通わせる選択肢が取りづらい。中高一貫高や偏差値の高い高校が近くに欲しい。小学校受験、中学校受験も選択肢が少なく厳しい立地。公立の保育園に通わせているが、先生方は非常に素晴らしい方が多く感謝している。ただし、幼稚園や保育園も教育に特色がなく、特にどこに入れたいと思わない。モンテッソーリ教育や英語教育など特色が欲しい。また西白井周辺は保育園になかなか入りづらいと聞く。そのため我が家は桜台に住んでいる。しかし、桜台は他の中学校区と離れており、むしろ印西市の小倉台や木刈が近い。互いに交流できたり、越境通学が当たり前なってもいいのではと思う。

都内や県内の人口密集部からの転入を考えるならば、都内に勤務する高所得者層を以下に引っ張ってくるかの策を考えなければ、たとえ人口は増えても税収が上がらないのではないかと。高所得者層にとって魅力的な街とは何か考えて頂きたい。子供に高いレベルの教育環境を与えたいのではないかと思う？自前で市内にハイレベル校を持ってないのであれば、市外のハイレベル校への通学費用のうち北総線運賃の比較的過大な部分だけでも、市が負担してはどうか？

医療費助成金が周りの市より 100 円高い。入りたい保育施設に入れず、遠くの保育施設に預けに行かなくてはいけなくなり負担がかかるので、流山市のような駅から保育施設に連れて行ってくれるようなシステムがあると、働きやすいと思う。私の住んでる地域は高齢化や空き家化が進み、同年代の子供が少ない。少し車を走らせれば商業施設が多い場所のため、もう少し子育てし易い環境だと集まると思う。

ベリフィールド在住です。住宅地に小児科の病院を誘致して欲しい。公立幼稚園を増やして欲しい。

小生、後期高齢者ですが、子供保育の場所が問題でしょう。北総線駅から遠い場所に保育施設を作っても、親（特に母親）が電車通勤の場合には大変でしょう。だから、駅周辺または、線路上に高架にして、保育施設を建設すると喜ばれるような気がいたします。

小学校の定員にばらつきがありすぎる。先生のやる気スイッチが入っていない。教育関係に力を入れて欲しい。

#### ■若い世代が集う場づくり

現役の子育てまた未婚の男女に意見や語り合う場を作ったらいいと思う。

運動公園に体育館を建設し運動公園をもっと市民が使いやすくすることでいろいろなイベントができるようにすれば白井市に住もうと思う若者が集まります。たとえば運動公園でコンサートを定期的に行うとか。体育館を利用するとか競技場は野外コンサート会場とか 全国で活躍している選手を呼んで選手権みたいな事をするとかそういうことを行えば時間はかかると思うが白井に住んでいけばすぐ見に行けると思い若者が集まると思います。

高齢の方のイベントや習いごと等は充実していると思いましたが、203040 才代限定のヨガやスポーツ教室等あればいいなと思いました。昨年移住しましたが、お祭りやフェスも多く、どの季節も楽しめるなと思っています。

たとえば保育士さんを求めるとしても、単身の若い人が安全に住む物件が少ないようです。ワンルームマンション等は都会でとっくに問題化していますし、近隣にとっては NINBY であるのも頷けることなので、単身から人によっては配偶者を得、子どもを持ちたければ持てるような、生

活形態の以降に対応できるような公営の、いろいろなマージンを持ちうる集合住宅の設計を、試みるとすごく効果的だと思います。
子育てしやすい環境だとは思いますが、その子供たちが大きくなった時、その若い人たちの娯楽や若い人が集まれる場が近隣市にあることが多い。市内にもそのような場所があればよいのにと思うことはある。
若い人をランダムに選択し、上記テーマでのディスカッションの場を公開で設けては如何。本音の議論を実施し、この席に、親世代をオブザーバーで出席し、世代のギャップを確認・埋める。
地域活動では高齢者ばかり、特に同じ人が長く居座っている感じがする。若い世代の意見や活動を育てる環境には至っていないのが残念！
若い世代が子連れで気軽に集えるカフェのような場所がほしいです。 児童館は児童館で子供たちが遊べるよい施設ですが、母親同士で楽しくおしゃべりしたり、子育てを一休みしてリラックスできる場所が欲しいです。 子供がいる母親同士で話をしている、駅前に素敵なお店があればいいのにね、と良く話題になります。 千葉ニュータウンや鎌ヶ谷の方までいけば、カフェやショッピングモールなど魅力的なお店が沢山ありますが、車を持っていない子連れの私にはなかなか行けません。市役所や、白井駅周辺に子育て世代のためのカフェのようなものがあると、同じ世代の人とつながりやすければ、白井が居心地の良い、定住したい場所になるのではないのでしょうか。
遊んでいる「緑」、「水辺」、「樹木」等を「若者が魅力的と感じる場」にする

## ■交通

車がないと生活出来ない（バスが不便すぎる）
交通費がもう少し安くなるのと 電車の本数が増えるといいと思います。
交通の便は良いと思うが、交通費が高すぎる。
北総線が高く、子供が電車で通学するようになると、白井が住みやすいとは言えない。
電車賃が高い
交通アクセスがあまり便利でない。
電車で出かけようにも、電車賃が高い。
まずは、北総線高運賃の実態を、市としてはどう解決するように動いているかを、市民は無論の事、移住する家族があればそこに向けての具体的施策を明示すべきです。
北総線の運賃が高い。定期券代だけでも「割安」にする方向で検討すれば、ある程度若い世代を引き込めるのでは？
北総線の運賃の高さが一番の問題点だと思います。他の鉄道の倍近い運賃は、市内勤務者以外はかなり負担になっています。交通費支給であっても、それが収入と見なされ、税制面で不利になっていると思います。私達が子育て時代の30年前、子供達が、電車で通学するようになったとき、定期代の高さにこの地区から引越する人が結構いました!今、マンションが、数多く建ち、若い家族が、多くなっていますが、子供達が、高校、大学となったとき、この交通費では、通わせる事ができないと思います。交通費が、高くて、友人もなかなか呼べないし、電車で買い物にも出掛けられないし、北総線の運賃を一般的な運賃にもって行くことが、町の発展の第1課題

だと思います。

通勤/通学運賃が高く家計に与える影響が大きく、また、リタイヤ後は遠出するのもままならない。しかし、自然環境は比較的良いとのでまずは目に見える運賃値下げから取り組んではどうか。

住宅街にするためには、北総鉄道の公平な運賃にする必要がある。3倍もする運賃を払っての定住策を作る事は不可能ではないでしょうか。老人にとっても東京までの運賃が高すぎて外出を考えさせられる。このように高い交通費の場所を考えると白井に定住は考えさせられる。

まずは北総線の料金の低価格化が第一です。都内に通勤している親などは定期代を会社が持ってくれるからまだ良いが、子供の私立中学や高校、大学への通学のことを考えると避けたくありません。

北総線の運賃が高いことから、子どもが高校生以上になると出て行く世帯も少なからずいると思います。北総線の運賃問題、商業施設の充実などの方が移住を決める大きな要素になると思います。その上での環境ではないでしょうか。

北総線の運賃の高さは、子育て最中の夫婦には、相当に頭が痛いのではと思います。近所では、新築の戸建やマンションが建設されているが、今一つのようなです。ニュータウン中央駅の駐輪場の料金が印西市に較べて高いという意見を聞く。(建設の際、白井市が収支していないことが原因と聞いています。)

## ■道路

都内に長年住んでから白井に戻ってきて感じたのは、ベビーカーでの道移動、やら、子供が自転車乗れるようになったら年齢関係なく道で走れる広さがあるのは育てやすいです。けど、先を考えると子供が電車利用しての習い事や学校へいくとなると、ある程度の年齢になったら白井でなくてもいいかなあって考えてしまいます。

古い道(木下街道)などは歩道も車道も狭く、渋滞する箇所もある。

歩道の整備がまだまだ足りないため、子供の外出にかなり気を使う。子供たちが安全に通行できる環境を整えてほしいです。

新しい地域ばかりが整備され(歩道、街灯、バス路線、病院)白井を支えてきた昔から住んでいる地域の整備がおろそかになっている。空いている畑や土地を売りたいくても売れない区域。跡継ぎのいない農家は荒地にするしかない。

通学にあたっての安い交通費、安全な通学路の確保を

木下街道や16号線など渋滞をなくして欲しい。

道路の行き止まりが多すぎて遠回りになることが多々ある。

車が必要な環境ですが、北環状線がいまだ完成せず、国道464は流れが悪くなりました。地域外に出るにも鎌ヶ谷、船橋、松戸、柏と渋滞が酷い。北千葉道路の開通が待たれます

## ■就業

未就学児～中学生までの子供がいる世代なのでしたら、比較的住み心地がよい自治体と感じています。白井市自体に魅力的な求人が少なく、やむなく都心に勤める→電車賃が高い、時間がかかる→都心へ引っ越す、という状況もあるのではないのでしょうか。(特に共働きする場合)白井市



で働きながら住み続けられる自治体になってほしいと思っています。
環境を中心とした住みやすさは素晴らしいと思います。就業面では、仮に都内まで出ると交通費の面でネックとなります。市内での就業が充実するとういと思います。
市内の就業機会の増大が必要。現実には東京通勤の利便性向上が重要だが大問題あり。(交通費)。
仮に多くの人に住むようになったとしても、市内に仕事が少ない。就労のため都内へ出ざるを得ない。電車運賃を引き下げることが大切だと思う(都内に出るのにちばにうバスは使えない)
大企業の工場、事務所等を迎え入れる、土地の紹介を行う等して仕事場を作る事が大切ではないか

#### ■認知度

白井市の認知度が低すぎる。話題提供の種作りが必要。16号に道の駅を作るとか、若い人が集まる音楽祭を定期的に主催するとか。基本的問題として6万人規模の市は今後運営が困難になる。印西との合併を再考すべし。両市が一つになり、費用の効率化を図れば財政基盤も強固になり、政策範囲も広がる。やろうとしても予算がなければ駄目。外人の姿をたまに見かけるが外人を受け入れる国際交流センターなども検討しては。
世間一般では「白井」は知られていない。例えば冗談でなく田園都市線沿線の若い世代に訴求することが効果的だと思ってます
日本一住みたい街印西市の隣町として知名度をあげてはいかがか？印西市といえども、「千葉ニュータウン駅付近の」印西市のことでしょうから、桜台は日本一住みたい街とも言えると思います。(保育園もはいいやすいです)
よその街の人達に話せる白井市の名跡、名物、食べ物、イベント、建物などをマトメて、白井市のホームページに掲載してほしいです。

#### ■公園

公園の整備。(たとえば市役所横の新公園は緑が全く不足していて静かに、落ち着いて子供たち遊ばしておく雰囲気ができていない。
公園にたいした遊具がなく、すぐに飽きてしまうので、わざわざ公園に行こうとはならない。また手洗い場やトイレがないので、長い時間公園で遊ばせられない。0歳児を抱っこしても公園に滞在できるように、日陰が欲しい。
子供たちが遊べる遊具の充実した公園をもっと作って欲しい。

#### ■商業施設

子供が無料で遊べる場所が入っているショッピングモールが白井市内に欲しい。
市内に商業施設が少ない。
車がないと生活が不便なので、徒歩、自転車で行ける商業施設などを作って欲しい。
大型ショッピングモールなどが白井市内に無いことから、ブランディングが出来ていない印象があります。
桜台以外の白井在住の方々からは、買い物が便利で羨ましいと言われています。確かに、白井、

西白井駅周辺の商店街は物足りないです。

#### ■その他

白井市の中でも、千葉ニュータウン区域については現在でも若い世代が増えているのではないのでしょうか。（全国平均に比べて）

市役所職員も積極的に市内に在住したり市内の行事に参加すべきだと思います。市役所職員からの白井に対する熱意が残念ながらあまり伝わりません。

住民税が高過ぎるので税額控除や引っ越し費用の負担をする。

子どもが小さい時はとても住みやすい街だと思いますが、桜台地区などは印西市に依存している部分がかなり大きいと思います。

ここ数年富士地区(西白井駅近辺)で、多くの家が建ちましたが、ほぼ浄化槽を設置しています。自分もこれから富士地区で家を建てる予定ですが、できれば下水が通っていて欲しかったです。自分の実家は愛媛県南予地方にある田舎ですが、10年程前に町全域で下水道工事をしました。白井市にもぜひ、全域で下水道のある街になることを期待しています。「定住するなら下水道の街・白井」

地域によって、格差がありすぎます。市という漠然とした設問でなく、市としての街づくりのターゲット地区でも挙げていただければ、わかりやすいと思います。

道路一本挟んだ隣が印西市です。(桜台に転居する前は印西市小倉台在住であった。)また、出生し就職していた場所は船橋でした。昨今のニュースには、印西市や船橋市が、子育てしやすく住みやすい街(場所)として取り上げられています。そのような点を鑑みて取り組みの手段を考慮するのも良いのではと思います。又、若いお母さん達が就職できる会社が多い印西市の様子も視察してみてもいいと思います。白井市と言えども我が家の買い物は、もっぱら印西市のショップです。

良い見本が日本で住みやすい街ランキングトップの「印西市」にあると思う。特に街の美観に歴然とした差があるように思う。初めて白井を見た若者は駅を降りた瞬間に魅力が今一つと感ずるのではないかと。対策として、電線地中化でも景観は様変わりになる筈。駅周辺でも煙草の吸殻がよく捨ててあるが、路上の全面禁煙は当たり前でその面でも白井は遅れているのではないかと。白井市の長期ビジョンが見えづらく感じます。

今、当市も空き家が増え、その対応やら効果ある対策が、今後の市のイメージアップになるか、正反対になるかのポイントになると思います。ほんとにやる気のある施策を市民に公表し、その実現に向かう市の姿勢が何より大事だと思います。